

2025年10月30日
三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社

各位

サステナビリティレポート 2025/26 の発行について

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(取締役社長:小林 隆宏、以下「弊社」)は、本日、「[サステナビリティレポート 2025/26](#)」(以下、本レポート)をウェブサイトにて開示しましたので、お知らせいたします。

弊社は、運用部門におけるスチュワードシップ活動にフォーカスを当てた「スチュワードシップレポート」を2017年に他に先駆けて初版を発行しました。昨年(2024年12月)にはコーポレート部門を含めた全社におけるサステナビリティ活動を対象とした「サステナビリティレポート」として刷新し、ステークホルダーの皆さまへの発信を強化いたしました。

本レポートの「SMTAM のコーポレート・サステナビリティ」では、2025年10月1日に社長に就任した小林 隆宏からの皆さまへのメッセージとともに、主にガバナンス・経営基盤に係る弊社の考え方や取り組みについて紹介しています。また、「SMTAM のスチュワードシップ活動」では、弊社のスチュワードシップ活動に対する考え方や活動方針、実際の取り組み内容やその実績について説明しています。

今年度作成したレポートにおける前年版からの変化、また、ご注目いただきたいコンテンツは以下の通りです。本レポートを通して、お客さまをはじめとした幅広いステークホルダーの皆さまに、弊社のサステナビリティ活動に対するご理解を深めて頂ければ幸いです。

弊社は、コーポレートとしてのサステナビリティ活動、および運用部門におけるスチュワードシップ活動をフィデューシャリー・デューティの要と位置付け、「責任ある機関投資家」としての役割を適切に果たしてまいります。

- 社外取締役から見た SMTAM のサステナビリティについて(社内の役員を交えた鼎談)
- 内部統制、コンプライアンス体制に関するコンテンツを追加
- 国内における協働エンゲージメントについて
- 弊社の考えるエンゲージメントなどについて(運用担当者による座談会)
- 重要な非財務資産である知財・無形資産に関する弊社のエンゲージメントについて
- 気候変動と自然資本についての情報開示フレームワークに則した「[気候変動・自然資本レポート 2025/26](#)」のダイジェストを掲載するとともに、同レポートへの誘導を実施

以上